

トマト葉かび病情報

平成21年4月28日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

トマト葉かび病抵抗性品種でも葉かび病が発生する場合があります。
(葉かび病菌レース4、4.9、4.11の発生)

1 発生概要

平成20年5月に県内10か所（西三河地域、東三河地域）から採取した葉かび病菌のレース検定を独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所に依頼したところ、レースは4、4.9、4.11のいずれかでした。

2 レースの性質

トマト葉かび病菌のレースとトマト葉かび病抵抗性遺伝子の関係は、表のとおりです。

抵抗性遺伝子はカタログ等で公表されていない場合が多く、公表されているのは、一部の種苗会社のCf-4とCf-9を持つ品種です。

トマト葉かび病抵抗性遺伝子を持たない品種は、葉かび病菌のレースに関係なく発病します。

トマト葉かび病抵抗性遺伝子Cf-4を持つ品種（桃太郎ヨークなど）は、葉かび病菌レース0、2に対しては抵抗性遺伝子をもっており、発病しませんが、それ以外のレースに感染すると発病します。

今回発生を確認したレース4、4.9、4.11は、トマト葉かび病抵抗性遺伝子Cf-4をもつ品種も発病させるレースです。

また、レース4.9はトマト葉かび病抵抗性遺伝子Cf-9を持つ品種（桃太郎コルトなど）をも発病させるレースです。

表 トマト葉かび病抵抗性遺伝子と葉かび病レースの反応(佐藤ら:2005一部改変)

トマト葉かび病 抵抗性遺伝子	葉かび病菌レース							
	0	2	4	2.4	4.9	4.11	2.4.11	4.9.11
なし	×	×	×	×	×	×	×	×
Cf-2	○	×	○	×	○	○	×	○
Cf-4	○	○	×	×	×	×	×	×
Cf-5	○	○	○	○	○	○	○	○
Cf-6	○	○	○	○	○	○	○	○
Cf-9	○	○	○	○	×	○	○	×
Cf-4, Cf-11	○	○	○	○	○	×	×	×

×：感受性（病気になる）、○：抵抗性（病気にならない）

参考 Cf-4をもつ主な品種 桃太郎ヨーク、桃太郎ファイト

Cf-9をもつ主な品種 桃太郎コルト、桃太郎サニー

3 防除対策

品種が持つ抵抗性にたよることなく葉かび病を防除しましょう。

防除対策は従来発生していた葉かび病と同じです。

- (1) 施設栽培では多湿にならないよう換気に努める。
- (2) 肥料切れや着果負担による草勢低下は発病を助長するので適切な肥培管理を行う。
- (3) 発病した葉は早めに除去し、ほ場内に放置しない。
- (4) 感染から発病まで2～3週間程度潜伏期間があるので、発病初期に農薬により防除する。
- (5) 農薬散布は葉裏にもかかるよう丁寧に行う。